

国語問題集 記述問題編

●本書の特色と構成●

1 本書の特色

このテキストは、記述力向上のための周辺事項のチェックと記述方法にかかる基礎的なトレーニングを目指した実戦的教材です。精選された素材により、効率的かつ徹底的に記述方法がマスターできるような、また記述に際して配慮すべき基礎事項についても理解が深められるような内容を持たせて編集してあります。

2 本書の構成

本書は原則的に1単元4頁で構成されていますが、各単元とも内容的には「ことばの勉強をしておこう」と各単元のテーマについての「記述トレーニング」の二つの部分に分かれます。

◇ことばの勉強をしておこう…記述力を側面から支える文法的・語法的・知識的事項の確認を行う内容になっています。基本的でありながら、誤りやすい問題を取り上げて、記述の際の注意を喚起します。

○記述トレーニング…記述のための方法を、段階的に七つに分けてそれぞれの単元で、それぞれの方法について練習します。最終単元は総合問題で、それまでに練習した方法を適用する確認問題になっています。

◆ 目次・単元のねらい ◆

1 指示語の内容をまとめてみよう	1
◇ 同音異義語・同訓異字	2
2 キーワードを抜き出してみよう	2
◇ 誤字訂正・仮名づかい・送りがな	6
○ キーワードを抜き出してみよう	7
3 キーセンテンスを抜き出してみよう	3
◇ 誤文訂正(1)	10
○ キーセンテンスを抜き出してみよう	11
4 段落の要点をまとめてみよう	4
◇ 副詞の呼応・修飾語の位置	14
○ 段落の要点をまとめてみよう	15
5 要点をまとめて、本文を要約してみよう	5
◇ 適語補充・適語代替	18
○ 要点をまとめて、本文を要約してみよう	19
6 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(1)	6
◇ 誤文訂正(2)	22
○ 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(1)	23
7 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(2)	7
◇ 敬語	26
○ 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(2)	27
8 総合問題	8
◇ 語法・適語補充	30
○ 総合問題	31

1 指示語の内容をまとめてみよう

1 ことばの勉強をしておこう 同音異義語・同訓異字

せつかく苦労して文・文章を書いたのに、誤字のために誤解されるのはたまらない。ここでとりあげた同音異義語・同訓異字は使い分けを誤りやすいので、とくに注意しよう。

① 次のそれぞれの組の文の——線部のカタカナを表す漢字として適切なもの

をそれぞれのあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□ (1) 門戸をカイホウする。
奴隸どれいをカイホウする。
病人のカイホウをする。
病状がカイホウに向かう。

ア 解放

イ 介抱

ウ 開放

エ 快方

□ (2) 左右タイショウの図形。

友人と私はタイショウ的な性格だ。
砂漠をタイショウの一団が進む。
中学生をタイショウとして書かれた本。

□ (3) ア 対象

イ 隊商

ウ 対照

エ 対称

□ (4) 桜の花をカンショウする。
芸術作品をカンショウする。
カンショウ的な気分になる。
他人のことにはんしょくする。

ア 干渉

イ 鑑賞

ウ 感傷

エ 観賞

2 次のそれぞれの文の——線部のカタカナを漢字にして答えなさい。

□ (1) よくコえた土地を手に入れる。

□ (2) 紙がヤブれる。

□ (3) 厳しい試験にノゾム。

□ (4) 結婚式の司会者をツトめる。

□ (5) クラブへの入会をススめる。

□ (6) 新入社員を十名トる。

□ (7) 空き地に大きなビルがタつ。

□ (8) 半生をかけて一冊の本をアラワす。

□ (9) 税金を国にオサめる。

□ (10) あえて危険をオカす。

□ (11) 詳細な例をアゲる。

□ (12) 梅雨がアける。

2 記述トレーニング 指示語の内容をまとめてみよう

● 指示語の内容をまとめるためには

1 指示語の問題に答えるためには次のような手順をふむ必要がある。

(1) 指示語を含む文は、文脈を重視して、文末まで読む。

(2) 原則的に、指示語の前の部分から探す。(ただし、指示語の後に指

示内容が述べられている場合もあるので、前の部分を見て指示内容に該当する部分が見つからない場合は、後を探す)

(3) 見つけた、または、まとめた指示内容は、必ず指示語の部分に代入して、意味が通るかどうかを確認する。

2 指示語の内容をまとめるときの注意点

(1) 設問の仕方に正しく対応させる。

① 「何」を指しているか → 名詞(体言)の抜き出し

② 「どういうこと」を指しているか → 「～こと」(名詞句・名詞節)

③ 「――線部」の指示する内容 → ——線部に即してまとめる

「～こと」の形になることが多いが、あくまでも——線部との対応の仕方で文末をまとめる配慮をする。

(2) 指示語の種類や品詞によつてまとめ方が異なる。

① 「これ・それ・あれ・どれ」「こっち・そっち・あっち・どっち」「ここ・そこ・あそこ・どこ」

→ 代名詞(具体的なもの・方向・場所・「～こと」などとまとめる)

② 「この・その」→ 連体詞、「こう・そう」→ 副詞

どちらも修飾語であり、その形にそつまとめ方が必要。

(3) 指示語の内容をまとめるときには、指示語を用いない。

1 — 線部の指示語が指している部分を文章中から書き抜いて答えなさい。

地球温暖化は温室効果ガスが主な原因だと言われています。それは、二酸化炭素やメタンなど大気中の熱を吸収する性質をもつもののことです。

2 — 線部の指示語が指している部分を文章中から書き抜いて答えなさい。

日本人は古来から、自然に存在するものに神が宿ると考えたため、①それを神格化して崇めるようになりました。また、木や岩、水などの物質だけではなく、雷などの現象にも②それが宿るという考えが根付いています。

3 — 線部の指示語が指している内容を書いて答えなさい。

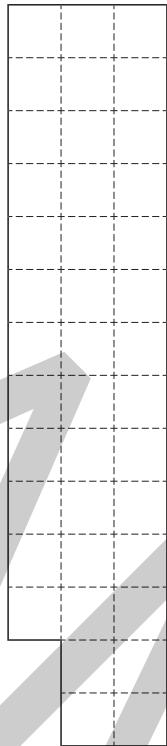
〈池上嘉彦「ふしぎなことば ことばのふしぎ」より〉

4 線部の指示語が指している内容を書いて下さい。

〈東山魁夷「風景」より〉

5 線部の指示語が指している内容を、四十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて下さい。

人口減少の問題が日本の中で広く認知されるようになつて久しい。現在、国をあげて多様な少子化対策が打ち出されているものの、日本の人口は二〇〇八年をピークに徐々に減少している。それはつまり、現在の日本社会が子供を産み育てるのに適した環境であるとは言えないことを示している。



6 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答え下さい。

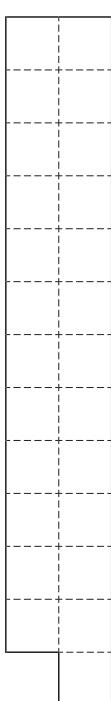
（注）幻想＝とりとめのない想像。

6 線①「そこ」が指している部分を、本文中から書き抜いて下さい。

（2） 線②「そんな場所」とは、どんな場所ですか。本文中から書き抜いて下さい。

（3） 線③「それ」が指している内容をまとめた次の文の□に入るところを、文末のまとめ方に注意して、二十五字以内（句読点も字数に数えます）で書いて下さい。

〈美しく豊かな自然にふれると、□



7 次の文章を読んで、あととの問いに答えなさい。

〈吉野源二郎の文章より〉

- (1) — 線①「それ」が指しているものを、全て三字以内で書き抜いて答えなさい。

- (2) — 線②「それ」が指している部分を、本文中から十五字以内(読点も字数に数えます)で書き抜いて答えなさい。

- (3) — 線③「この点」とは、どんな点ですか。三十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

- (4) — 線④「それ」が指している内容を、十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

- (5) — 線⑤「その」が指している内容を、「どの一つを」につながるようまとめなさい。

どの一つを